

編さん委員会を設置

日野町史の編さんがスタート

11月9日、第1回日野町史編さん委員会を開催し、今後、町制60周年を迎える平成31年度の発刊をめざし、記載項目や今後の取り組みにかかる事項について協議しました。

町は、この編さん委員会のほか、今後、分野別の小委員会の設置、協力していただける住民ボランティアの募集などを進め、より多くの皆さんが、町の歩みや郷土史に興味を持ち、ふるさとへの親しみと愛着を感じていただける町史の編さんに努めていくことにしています。

日野町史編さん基本計画を策定

町では、過去、昭和45年に「日野町誌」が出版され、町民が郷土史を学ぶうえでの基礎資料として愛読されてきました。また、町制施行以前の政治などについても詳細に記録されており、行政資料としても重要な役割を果たしています。

しかしながら、発刊から45年もの歳月が過ぎており、その間、新たな歴史資料の発見・発掘がなされている今、新たな町史の発刊を求める声も日ごとに高くなっています。

そこで、平成26年3月に「日野町史編さん準備会」を設置し、新しい「日野町史」編さんにかかる概要について検討を重ね、その結果をもとに、このほど編さん基本計画を策定しました。

計画の意義としては、平成12年10月6日発生の鳥取県西部地震の際に被災家屋から救出した古文書類など、新発見の資料も数多く、「日野町誌」の記述を見直す必要が出てきています。

基本計画での町史の内容について

基本計画における町史の内容は、まず通史Ⅰ（町制施行以降）を、町制施行60周年となる、平成31年度に出版するというものです。

これは、主に昭和45年5月に発刊した「日野町誌」以後の町の歩みを記載するものです。

このほか、通史Ⅰ出版以降（平成32年以降）に出版を検討するものとして、通史Ⅱ（地質・自然環境、考

また、奥日野のたたら製鉄文化の掘り起し、黒坂鏡山城址の保護活動など、住民レベルでの地域史の見直しも近年進んでいます。

反面、地域史に詳しい人たちが高齢化し、だんだんと昔を知る存在が減りつつあり、まちの歴史を形に残すタイミングは今を置いてほかにはないと言えます。

さらに、鳥取県西部地震をはじめ、平成17年の町財政破たん危機など、町が経験した重要な出来事を記録しておくのは、自治体として当然のことです。

日野町史発刊計画

計画年度	名称	内容
平成31年度に出版を予定するもの (町制60周年)	日野町史(通史Ⅰ)	日野町制施行以降編 主に昭和45年発刊「日野町誌」以降の歩み(行政・自然・歴史・民俗など)について記載します
平成32年度以降に検討するもの	日野町史(通史Ⅱ)	地質・自然環境、考古～近代、民俗編
	資料編Ⅰ	地質・自然環境、考古、古代、中世、民俗
	資料編Ⅱ	近世、近代
	ブックレット	たたら製鉄編 ふるさと人物伝 まちの歴史的写真 ふるさとのことば・地名など

古く近代、民俗編」と、資料Ⅰ(地質・自然環境、考古、古代、中世、民俗)、資料編Ⅱ(近世、近代)、ブックレット(たたら製鉄編、ふるさと人物伝、まちの歴史的写真、ふるさとのことば・地名など)をあげています。

また、付帯調査として、鳥取県西部地震の際に民家から救出した古文書や歴史民俗資料館に保管している古文書などの整理・解読調査、また町内に古くから伝わる行事・例祭などの民俗文化財などについて調査する必要があります。

町史編さん体制 各委員の顔ぶれ

町史編さん体制としては、町史編さんにかかる基本的事項を決定する「町史編さん委員会」、それぞれの分野で専門的な調査や執筆などを行う「小委員会」の設置、役場内で事務や資料収集などを行う「町史編さん室」を設置するものとしています。

これに基づき、郷土史研究や学識経験のある委員9人を委嘱、11月9日第1回日野町史編さん委員会を開催し、まず委員長、副委員長を決めた後、基本計画の説明、日野町史（通史Ⅰ）の規格や記載する項目、今後の取り組み方針など基本的事項について協議しました。

今年度中には、記載分野など町史の内容を固め、調査や執筆にかかれるよう進めていくことにしました。

委員の皆さんを紹介すると、町歴史研修会会長の牧智也さん（黒坂）、前町教育長の山本武史さん（下黒坂）、町文化団体連絡協議

会会長の松本利秋さん（秋縄）、県立大山自然歴史館館長の矢田貝繁明さん（上菅）、伯耆国たたら顕彰会事務局長の藤原洋一さん（根雨）、元新聞記者として町内に住み町の取材報道に努められた、頼田直真さん（島根県松江市）と河野利晴さん（米子市）、行政から教育長の長谷川弘信さん（福長）、文化センター・図書館長の松田暢子さん（根雨）です。

互選により、委員長に山本武史さん、副委員長は長谷川弘信さんに決まりました。

小委員会は、今後、編さん委員会委員のほか、新たに自然環境、歴史・文化・民俗、政治・行政・教育の3分野において、専門知識を持つ委員を委嘱する予定です。

11月から役場2階に 専用の事務室を開設

町史編さん室は、すでに今年4月1日に役場企画政策課内に設置し、準備会や委員会にかかる事務をはじめ、資料収集などを行って

います。

また、11月からは所属を教育委員会事務局に変更し、役場2階に新たに専用の事務室をオープンしました。今後、町史編さん室の妹尾秀博室長が在室し、委員をはじめ関係者の打合せや調査、執筆、資料の収集整理などに活用します。

町民の皆さんの暮らしの移り変わりをはじめ、地域の行事や祭り、伝承、産業などの資料や情報がありましたら、気軽に編さん室にお越しください。

昔の写真・資料収集にご協力を

町では、今後刊行予定の「日野町史」の編さんにあたり、まちのあゆみ・歴史を物語る写真や資料などを収集しています。

次のような資料をお持ちの方はご連絡ください。



①日野町および旧町村に関する写真

（明治から昭和の建物や地域の風景、祭り、行事など）

◀国道181号全線開通式（昭和49年）

②日野町および旧町村に関する資料（行政の刊行物、書籍、商店チラシ、映像記録など）

③その他歴史的資料（古文書など）

※これらの資料をお持ちの方は、下記連絡先までお知らせください。記録を取ったうえで、資料価値の高いものについては、町史編さんに使用させていただく予定です。

■連絡先 日野町史編さん室（役場2階）
電話72-0341

日野町史編さん協力員を募集します

町では、町史編さんに関する情報、資料などの提供、専門家や執筆者などの調査などに協力していただける「日野町史編さん協力員」（ボランティア）を募集します。

対象者

活動の流れ

①自然環境（地勢、地質、動植物、気象など）②歴史・民俗・文化など
③政治・行政（産業・経済、福祉保健・生活環境・観光など）④教育
⑤地域の住民活動・生活・祭り・行事・風習など⑥その他、日野町史編さんに関して、学識経験または興味・意識をお持ちの方で、住所は問いません。協力員は名簿に登録し、関係する分野の小委員会または町史編さん室の求めに応じて、必要な協力活動を行うほか、自主的に情報・資料の収集および提供に協力していただきます。なお、活動はボランティア（無報酬）となります。

このほか、必要に応じて小委員会に参画し、編集内容などの検討、執筆などを依頼する場合があります。

登録申請

問合せ先

希望される人は、協力員登録申請書に必要事項を記入し、12月28日（月）までに町教育委員会内町史編さん室に提出ください。
役場町史編さん室 担当 妹尾（電話72-0341）